

説教

卒業写真のあの人♪

マルコによる福音書 第10章 17-22節

「あなたに欠けているものがひとつある。」(マルコ10:21)

森島 豊

大学宗教主任



かつて、松任谷由実が作詞作曲した歌で「卒業写真」というヒット曲がありました。一九七五年のヒットアルバムですが、あの時代に学生だった世代は、この曲を聴くと青春時代を思い出して胸がぐっと来るといいます。卒業写真、皆さんはどんな時に見ますか？

しょうちゅうは見ないでしょう。この歌では「悲しいことがあると 開く皮の表紙♪」とあります。うまいいかない事がある。自分を失う事がある。その時に、昔の自分を取り戻したくて開くかもしれません。

この歌の中で「あの人」という人が出てきます。「卒業写真のあの方は、やさしい目をしてる♪」。この眼差しを感じるために、卒業写真を開きます。

実は、歌の中では、学生時代の大切な「あの人」を偶然町で見かけるのです。けれども、声をかけられませんでした。あの方が卒業写真の面影のままでいたからです。自分は世間に揉まれて変わってしまったけれども、「あの人」はそのままだった。そこで卒業写真を開いてあの方の眼差しを探して言うのです。「人ごみに流されて 変わってゆく私を あなたはときどき 遠くでしかって♪」。

聖書の中にも、じっと見つめている「あの人」が出てきます。キリスト教会はいつもこの人の眼差しを探し求めています。それは主イエス・キリストです。「イエスは彼を見つめ、慈しんで言われた。『あなたに欠けているものが一つある。行って持っている物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従

いなさい』。その人はこの言葉に気を落とし、悲しみながら立ち去った。たくさんの財産を持っていたからである」。主イエスが見つめられたこの人は、完璧な人でした。けれども、一つだけ欠けていました。もしかすると、幼い頃は欠けていなかったのかもしれませんが。大きくなって、社会の流れの中で身につけてしまったものなのかもしれません。彼は、この世の価値観から自由になれなくなっていたのです。この世の価値観、すなわち財産。それは大事なものです。けれども、それが絶対になってしまい、夢や目標や志よりも価値が出てしまい、そこから自由になる柔軟性をも失ってしまったのかもしれませんが。

松任谷由実がつくった曲で映画『魔女の宅急便』の挿入歌に「やさしさに包まれたなら」という歌があります。「小さい頃は神様がいて♪」という歌詞が始まります。小さい頃、確かに神様がいたような気がするのです。その神様がどんな神様か分からないのですが、目をつぶると自分を越えた存在があることを知っていたような気がするのです。けれども、いろいろなことを経験して、知れば知るほど忘れるようになったものがあると思うのです。神様という存在です。目に見えるものだけしか信じられなくて、そのうちに夢や希望も見えなくなっているような気がするのです。

東京の大会に出て、渋谷の人混みに流されて、変わって行くこともあります。良い意味で変わることもあれば、世間に流されて、失ってしまうものもあります。三年前に抱いていた夢、希望、純粋な心、目標に向かっていく

負けない意志。そんなあなたが、人ごみに流されて、変わっていくことがあるかもしれない。愛よりもお金が大事になるかもしれない。社会の中に出て行けば、この流れはもっと激しくなります。そのあなたが自分を取り戻すために、変わらずに見つめている「あの人」があなたにはいますか？

「悲しいことがあると 開く皮の表紙」。皮の表紙。もしかすると、聖書はあなたの卒業アルバムになるかもしれません。

もう卒業した学生で、しかしよく大学礼拝に参加している卒業生がいます。その方は他の学生よりも多く礼拝に出ています。私は何となくその人の気持ちが分かります。厳しい社会の荒波の中で失いかけている何かを求めて来ているのだと思います。松任谷由実の曲のサビの部分では、自分を見つめる卒業アルバムの「あの人」に向かって次のように歌います。「あの頃の生き方を、あなたは忘れないで。あなたは私の青春そのもの♪」。

聖書の中には決して変わらないあの方がおられます。あなたを決して見捨てないあの方です。たとえ社会が見捨てても、あなたが背を向けて立ち去っても、変わらずあなたを見つめておられる神様があなたとともにおられます。自分を見失いそうになったら、いつでもこの皮の表紙を開いて見てください。大丈夫。あなたは神様に愛されています。あなたの青春を取り戻す眼差しがここにあります。分からなくなったら、教会の扉を開いてみてください。

Series Servant Leader

SDGsの先駆者 賀川豊彦のスピリットに学ぶ



最近、ドーナツ型のカラフルなバッジを身に付けているビジネスパーソンが増えました。これは2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」を2030年までに達成しよう！という意気込みを表したものです。

「今のままでは地球は持たない」という危機感から、将来にわたって持続可能な世界を目指すための共通言語といえるSDGsは、21世紀の国際社会の憲法ともいえるでしょう。

1972年にローマクラブが「成長の限界」を唱えてから間も半世紀を迎えようとしています。この「成長の限界」がもう既に訪れていると言えます。世界は今後どのようにして持続的な未来を築いていけばよいのか？ この世界的な共通課題への取り組みがSDGsであります。

SDGsは「誰一人取り残さない (Leave No One Behind)」という人間の尊厳を守る基本理念のもとに、「17の目標 (ゴール)」と「169のターゲット (達成項目)」として明示されています。そして地球市民である私たちを「地球を救う機会を持つ最後の世代」と位置づけ、環境の悪化や紛争、貧困、不平等などにより、転覆しかけられている地球という船の乗組員である人類が、みんなで協力・連携して舵取りをするように警鐘を鳴らしています。

そのような中、米タイム誌の「今年 (2019年) の人 (Person of the Year)」にスウェーデンの環境活動家、グレタ・トゥンベリ (Greta Thunberg) さんが選ばれました。彼女の言葉に共感した多くの若者が行動に移し、それを受

広崎 仁一

日本サーバント・リーダーシップ協会理事



けて各国の企業が温暖化対策に力を入れはじめてきています。

SDGsが目指している姿は、①地球の環境を守りながら、②すべての人が尊厳をもって生きられる社会と、③誰もが豊かな暮らしを継続的に営むことのできる経済を実現することです。

①の環境の側面には、「目標6:安全な水とトイレを世界中に」、「13:気候変動に具体的な対策を」、「14:海の豊かさを守ろう」、「15:陸の豊かさを守ろう」があります。

②の社会の側面には、「目標1:貧困をなくそう」、「2:飢餓をゼロに」、「3:すべての人に健康と福祉を」、「7:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、そして「4:質の高い教育」、「5:ジェンダー平等」、「11:まちづくり」、「16:平和と公正」の目標があります。

③の経済の側面には、「目標8:働きがいも経済成長も」、「9:産業と技術革新の基盤をつくろう」、「10:人や国の不平等をなくそう」、「12:つくる責任つかう責任」があります。

そしてこれらを実現するために欠かせないのが「目標17:パートナーシップで目標を達成しよう」であります。

私たち一人ひとりが「誰一人取り残さない」という基本理念の実現を目指し、これを自分ごととしてとらえ、自分らしい取り組みを果たしていく責任が与えられています。

では具体的にどのように取り組んで行けばよいのでしょうか？

かつて、この「誰一人取り残さない」と同じようなスピリット

を持ちながら、病んでいる社会の変革に立ち上がった日本人がいました。その方は賀川豊彦です。今年召天60年を迎える賀川は、キリスト教の牧師であり救済活動をしな

がら、貧民救済活動、幾多の社会運動や平和運動にも取り組み、一人から始まった働きは変革の大きな実を結び、SDGsの先駆者のような存在となりました。そしてノーベル賞候補にも5回 (文学賞:2回、平和賞:3回) 推薦されました。

賀川は16歳の時にアメリカの宣教師から洗礼を受けました。そしてキリストの贖罪愛への応答として、自分自身を人々のために捧げよう決心しました。その後ジョン・ウエスレーの感化を受け、21歳の時に神戸の貧民街 (スラム) に入り、誰からもかえりみられない生活をしてきた貧民の友として生活をする選択をしました。そこで彼らに寄り添いながら数々の救済活動と防貧活動とに身を捧げました。3年弱の渡米をはさみ、約10年間神戸の貧民街で伝道と隣人愛の実践をしました。

ここで賀川豊彦の功績をSDGsの17の目標に照らしてみよう。賀川は無料宿泊所を用意し (目標1)、安い一膳飯屋を開き (目標2)、無料診療所を開設し (目標3)、日曜学校や保育施設で幼児教育に力を注ぎました (目



貧民街 (スラム) での賀川

標4)。また衛生改善活動にも全力で取り組みました (目標6)。消費組合運動を起こし現在のコープこうべの原型を作りました (目標12)。関東大震災後は、活動の拠点を東京に移し墨田区本所でのセトルメント活動を手始めとして、様々な協同組合の基盤作りや新しい制度・システムを構築していきました (目標9,11)。「世界連邦」を提唱し、地球環境や貧困・飢餓の救済・人権問題の解決に取り組もうとした (目標16)。

特に賀川が注力した協同組合の精神は「一人は万人のために、万人は一人のために」であります。これはSDGsが掲げる「誰一人取り残さない社会」と非常に近いものがあります。

2016年11月に「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そして当時の藩基文・国連事務総長は「協同組合は、誰一人取り残さないというSDGsの原則を体現している」と述べました。

「一人は万人のために、万人は一人のために」は万人が社会の主人公であるものを謳うものです。SDGsが描く「誰一人取り残さない社会」とは、単に77億人の栄養価や教育機会が満たされている社会ということにとどまらず、「一人ひとりが仲間として共に歩み、社会を発展させる存在 (主人公)」として望まれる社会であります。

個人の力には限界がありますが、相互扶助の精神、協同の精神でお互いに思いやり助け合うコミュニティの中でこそ、個々人の持ち味が活かせる社会の実現が可能であると信じます。

賀川豊彦はSDGsの先駆者であると共に優れたサーバント・リーダーでもありました。

AOYAMA VISIONとして「すべての人と社会のために未来を拓くサーバント・リーダーを育成する総合学園」を掲げる青山学院で学ぶ皆さんが、勇気を持って一歩踏み出し「小さな賀川豊彦」として、自分の持ち味を発揮することで、「誰一人取り残さない社会」に近づいていくことを確信しています。

広崎仁一さんは長年にわたりサーバント・リーダーシップの啓蒙活動に尽力されており、青山学院大学の2019年度後期チヤペル・ウィークでは奨励してくださりました。

Toyohiko Kagawa: Servant Leader

WESLEY HALL NEWS

No.132 MARCH 2, 2020



高等部67期卒業式

光の子となるために、
光のあるうちに、光を信じなさい。

ヨハネによる福音書 12章 36節

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

(マタイによる福音書 第5章 13～16節より)

シリーズ 祈り

クレド (ある兵士の祈り)

成功を収めるために 神に力を願ったのに
弱くなってしまった 謙遜を学ぶように
偉大なことをするために 神に健康 願ったのに
病気になってしまった 神の心にかなうように

私の願いはなにひとつ 叶えられなかったけど
希望した全てのことを 私は受けた

幸せになるために 神に富を願ったのに
貧しくなってしまった 生きる厳しさのように
弱い人を助けるために 神に権威を願ったのに
無力になってしまった 神に頼ることを学ぶように

神は私に必要なこと 何もかも知っておられる
希望した全てのことを 私は受けた

人に尊敬されるために 神に手柄を願ったのに
ただ失敗に終わった 思い上がらないように
聖なる人になるために 神に徳を願ったのに
罪のみにくさに泣いた 神の愛の深き悟るように

私の姿は変わらない 弱く何もできないけれど
喜びに満ちあふれて 私は歌う

この詩は、ニューヨーク市34番街にある物理療法リハビリテーション研究所の受付の壁にある南部連合の無名兵士の詩です。自分の力で何かを成し遂げようとする苦しい。しかし、神さまが自分を用いてくださると知ったとき、それは喜びに変わる。私たちも喜びに満ちた人生を歩みましょう。

(初等部宗教主任 小澤 淳一)

編集後記

神様との出会い、人との出会いの喜びが語られる本号となりました。一人ひとりの挑戦や成長の背後には、神様の導きとまた神様が遣わして下さった隣人の支えがあったことに気づかれます。「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。」と箴言にあります。本学院が「友」の豊かな出会いを提供し続ける学舎であらんことを祈りつつ、本号を締めくくりたいと思います。

(初等部教諭 戸井田 直人)

Wesley Hall News 第132号
2020年3月2日発行

発行 青山学院宗教センター 学院宗教部長 大島 力
東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-6537 (ダイヤルイン)
(URL) http://www.aoyamagakuin.jp/center/index.html
(E-mail) agcac@aoyamagakuin.jp
編集 カフェスレーホールニュース編集委員会
印刷 株式会社 万全社

幼稚園より

卒園礼拝 3/6金
終業礼拝 3/12木
卒園式 3/13金
入園式 4/10金
母の日礼拝 5/18月

初等部より

卒業礼拝 (6年生のみ) 9:10~9:50
3/6金 米山記念礼拝堂
説教 小澤 淳一 (初等部宗教主任)
6年生を送る礼拝 8:25~8:50
3/9月 米山記念礼拝堂
イースター礼拝 8:25~8:50
4/14火 米山記念礼拝堂
お母さんへの感謝の集い 11:00~12:00
5/11月 青山学院講堂

中等部より

卒業礼拝 8:30~9:15
3/16月 青山学院講堂
CF (クリスチャン・フェロシッパ) 活動 4/7火 校内清掃奉仕活動
イースター礼拝 9:20~10:30
4/27月 青山学院講堂
母の日・家族への感謝の日礼拝 10:20~12:00
5/11月 青山学院講堂

高等部より

卒業礼拝 3/6金 高等部PS講堂
イースター礼拝 4/16木 高等部PS講堂
保護者聖書の集い (予定) 4/24金 5/22金
伝道週間 5/11月~15金

幼稚園 Kindergarten

卒園をむかえるいま

加藤 聡美

幼稚園保護者会会長

三年間、振り返ると、あっという間に流れた幸せな時間がそこにはあります。

入園間もない頃、手をつなぎ母娘で寄り添いながらゆっくりゆっくり登園した朝、降園するころには、すっかり眠くなってしまった娘をだっしこながら「小さな体で今日も一日頑張ったんだなあ」と、ことのほかぎゅっと抱きしめながら歩いた日々を思い出します。まだまだ幼く「できない」ということを愛しみ「できる」ということを尊びながら過ごす毎日でした。たくさんの事が早くできる様になって欲しいと願う反面、急いで大きくなりたいと欲しいと思う母親のわがままをよそに、娘は大好きな幼稚園で、先生方やお友達に囲まれ多くを学び、豊かに成長しました。

集団生活の中で一生懸命に自分の思いを伝えようとする逞しさ。お友達の気持ちにも思いを馳せられる優しさ。そして、卒園をむかえるいま、娘は後ろを振り返らずにどんと前へ進んでいく力強さを持っています。

この成長を神さまに感謝しつつ、未来を見据え、少し小鼻を膨らませて、新しい世界へ意気揚々と踏み出す娘が、寂しくなった時、立ち止まってしまった時、そっと寄り添えるよう見守り続けていければと切に願います。



おおきくなった 年長組のみなさんへ

赤坂 洋子、石垣 李沙
幼稚園年長組担任

幼稚園では、自分のやりたいことを見つけて一人でじっくりと、時には友だちとアイデアを出し合いながらいっぱい遊びましたね。そして好きな遊びのこと、たくさん話してくれましたね。

ラーメン屋さん：看板を作ってお店を開いて、紙や毛糸を使ってお客様にラーメンを作ったのが楽しい。

鬼ごっこ：みんなで逃げるから楽しい。鬼になってタッチできると気持ちがいい。

おうちごっこするのが好き。お母さんになって料理したり赤ちゃんのお世話をするのが楽しい。

一人ひとりが神様から与えられた賜物を生かしながら存分に遊ぶ園生活では、楽しいことや嬉しいことも、友だちと揉めることや、悩んだり迷ったりすることもありました。その全ての経験を力にして、皆さんが賜物を響かせ合い、認め合う仲間として育ち合ってきた三年間に感謝します。ご卒園おめでとうございます！

初等部 Elementary School

私にとって大事な時間

福原 有佳子

初等部6年

「礼拝って毎日するの?何するの?」と他の学校の友達に聞かれることがあります。普段は初等部で、日曜日は教会に行き、礼拝をするのが私の日常では当たり前になっていたけれど、そうではない人もいるのだなと感じたことがあります。

私は聖書のたとえ話を聞くのが好きです。特に「良いサマリア人」のたとえ話です。そこに出てくる、自分の損得を考えずに困っている人に手を差し伸べたサマリア人のようでありたいと普段思っています。けれども、自分の考えに縛られてその当たり前のことができない祭司やレビ人のような心になってしまうこともあるように思います。そんな時、聖書のお話を聞くと、神様の方に心がまっすぐ向いて、自分を見つめ直すことができています。

また、礼拝の時は他の人にも心を寄せることができます。お祈りの中で、休んでいる人や困っている人のこと、他の国の子どもたちのこと、自分たちを支えてくださっている方々のことをお祈りします。普段自分のことばかりでそのようなことを感じる余裕がない中で、その時間はとても大切だと思っています。一日の中で短い時間ではあるけれど、自分にとっては必要で大事な時間です。そして、友達や先生方とその時間を一緒に過ごして毎日を送っているこの学校が好きです。



人にもしてもらいたいと思うことを 人にもしなさい

田中 和美 初等部教諭

初めて会った1年生の入学式。まだ辿々しかったあの時の姿を覚えています。ところが今は堂々とした姿で、今年度の1年生のお世話を丁寧にしてくれました。

イエスさまは「人にもしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」と語られます。1年生にしてくれた働きは、まさにこの聖句の通りでした。そしてこれはみなさんが1年生の時に6年生にさせていただいたことでもあるのです。イエスさまの言葉を体現し、輪として繋いでくれたことに感謝します。みなさんの未来が、神さまに守られて、「なないろ」に輝くようにと心よりお祈りしています。

六ねんせい、ありがとう

高杉 奏多 初等部1年

ゆかちゃんからうえ木ばちのケースをもらったことが、うれしいおもしろい出のひとつです。どうしてかという、わたしのすきないろでつくってあって、かわいかったからだよ。まえにすきないろのはなしをしたのをおぼえてくれたことがわかって、うれしかったよ。

そつぎょうしてしまうのがさみしいです。もつといっしょにいたいな。いつもがんばれていてくれてありがとう。あったら、ここにこわって手をふってくれてうれしかったよ。

ゆかちゃんが大きいです。大きくなゆかちゃんを、ずっとかみさまがまもってくれるといいな。

中等部 Junior High School

少しでも変わるために

熊井 花音

中等部3年

中等部に入学してから早3年という月日が経とうとしている今、未だに入学式のことさ鮮明に思い出せる私は、中等部での年月の短さに驚く反面、どこか寂しい気持ちでいます。

振り返ってみればいたずらに時を過ごすこともあった3年間でした。代わり映えもしない日々を、何を思うでもなく過ごしていた時期もありました。ですが、高校生になればこれからのことについて本格的に考えなければならず、今までのように漠然とした目標だけ立ててそのための努力を何もしないような私はすぐに周囲に差をつけられてしまうことでしょう。

でも中等部での3年間は、そんな自分を変えるために新しいことにも挑戦できました。その中でも全校礼拝のお話に挑戦したことが特に私の心に残っています。私は大勢の人の前で話すことが苦手ですが、先生や友達からたくさん褒めてもらえて、とても良い経験になったと思います。また学校外でも、好きな曲の楽譜をアレンジしてピアノで演奏してみたり、詩や俳句を作ったりなど新しいことに挑戦できました。

このように少しずつ新しいことに挑戦してみることで高校生に向けて、自分を磨くことができたと思います。さっとすぐには私の理想通りにはならないと思いますが、高等部でも、そしてこれからもたくさん新たな挑戦をする機会があると思います。その中で立派な人へと変わっていけるように、高等部でも努力を惜しまないようにしたいです。



ご卒業おめでとうございます

筒井 祥之

中等部教諭



Andrea del VERROCCHIO
"Tobias and the Angel"
(web GARELLY of ART)

新たな環境へ旅立たれる皆さまに一枚の絵を紹介いたします。この絵はレオナルド・ダ・ヴィンチの師匠のヴェロッキオの工房で制作されました。レオナルド自身が描いたのは、右側のトビアスの持つ魚、あるいは左側の天使ラファエルの足元の子犬という諸説があります。

盲目のトビアスは父の頼みにより旅に出ることになりました。これから降りかかる災いから彼を救うために、神様は旅の同伴者として天使ラファエルを遣わして彼を救ってゆくというお話の絵です。当時、愛する家族を旅に出さざるをえない事情があった注文主の依頼により、この絵は制作されたと言われています。

それぞれの学び舎をご卒業なさる皆さまには、神様は、ラファエルのような先案内人を皆さまの心の中に遣わして下さいます。これから出会う様々な事に対しても、良き道を示し、お守りくださります。学院で学ばれた事を胸に、新たな世界へと旅立ってゆかれることを心からお祈りいたします。

あたららしい世界への一歩——卒業

思い出がいっぱいの学院生活も、あとわずか。新しい一歩を踏み出す人、すてきな仲間を送り出す人。各部の方に、いろいろな思いをさきました。

高等部 Senior High School

つながり大切に

若山 理音

高等部3年

卒業を前にした今、私はこの高等部68期の目標の、本当の意味をようやく理解しようとしています。

正直に言うと、今まで私は神さまの存在を信じてはいても、その恵みを本当の意味では実感することができていませんでした。しかし、迫害や離散に適応するためにユダヤ人が獲得したもののについての平和共生論文の執筆や、中等部からの6年間の聖書の授業、高等部3年次の選択授業「聖書特講」の受講、そして毎日の礼拝を通し、私は神さまとは何か、また神さまのご計画、神さまが私たちに与えてくださる恵みや愛についてなど、深く考えることができるようになりました。数年前とは確実に神さまとの向き合い方が変わったと確信しています。

また私は、この6年間ですばらしい友人たちや先生方に恵まれたと強く感じています。皆さんが私を幸せにしてくれて、毎日、そして未来を素敵なものにしてくれていると、卒業を前にした今、実感するので。そしてそんなすばらしい方々に巡り合わせてくださった神さまのご計画や愛を強く感じ、とても感謝しています。

さらに、この神さまとの新しい関係や、たくさんの素敵な出会いから、自分自身を見つ直すという機会を多く与えられたと感じています。自分とは何か、神さまから私にくださった賜物は何なのか、幸せとは何か、考えることが多くなりました。私は将来、神さまに頂いた賜物を使い、隣人だけではなくたくさんの人々に幸せをあげられるような、また幸せを築けるような人になりたいと思っています。

このように自分自身が成長することができたのは、友達や先生方、優しく見守ってくれる両親、いつもそばにいてくれる神さま、そしてすべての方々のおかげだと感謝しています。



平和を生み出す つながりを

山田 徹
高等部3学年主任

学年目標「つながりを大切に」は3つの意味がありました。

1つ目は「上とのつながりを大切に」、これは神様とのつながりを大切にしてほしいということでした。青山学院高等部に入学してからの3年間でずっと神様とのつながりをより強く感じるができるようになったことでしょう。私たちが神様とのつながりを忘れてしまうときも神様は私たちとのつながりを忘れることは決してありません。いつも関心を持ち続けて下さる神様に信頼してこれからもつながりを保ち続けて下さいね。

2つ目は「横とのつながりを大切に」、これは日々会う人を大切にしてほしいということでした。この3年間で素晴らしい友人や先生方に出会えたことは本当に大きな恵みでした。これから相手への価値観を尊重し、恐れず様々な人とのつながりを大切にして下さい。

3つ目は「下とのつながりを大切に」、これは日々学ぶことを大切にすることで自分をさらに掘り下げてほしいということでした。大学でさらに学びを深めそれを自分のためだけでなく相手に生かすために用いてください。この3年間で得た「つながり」が平和を生み出す「つながり」になりますように。

女子短期大学 Women's Junior College

卒業を迎える今

鈴木 絢采子

女子短期大学 現代教養学科2年



短大に入学してから2年の月日が過ぎ、今卒業を迎えようとしています。歴史のある短大で広く教養を学べ、自分が興味を持った分野をさらに追求できるという恵まれた環境で学生生活を過ごしてきました。

入学を機に兵庫県から上京してきた私にとってはすべての出会いがかけがえのないものでした。入学して最初に仲良くなった友人はクリスチャンでした。お昼ごはんを中庭で食べていると他のクリスチャンの友人が集まって、そのおかげで一気に関わりが広がりました。キリスト教をしっかりと学んだことのおかげで、礼拝も素敵なお集いの一つで、どこか心が落ち着いて「一人じゃない」という気持ちになりました。

キリスト教の授業で聖書の内容を学び、ユーモアあふれる先生におもしろくわかりやすく教えて頂いたおかげで興味を持って取り組む事が出来ました。先生は毎週授業中に「少しでも気になる事や辛い事、楽しい事も話を聞くらね」とおっしゃっていたのが印象的です。振り返ってみるとそうやって手を差し伸べてくれたのだと思い、陰ながら支えてくれた先生には感謝がいっぱいです。

短大は自分の可能性を広げてくれた学び舎です。私は卒業したら他大学に編入します。友人と進む道は違いますが、短大で学び得たキリスト教のあたたかい教えと心の持ち方を胸に、これから自分の道を進んでいきたいと思っています。

無味無臭になろうとしてはいけない

輪島 達郎
女子短期大学 現代教養学科 准教授

青山学院スクール motto「地の塩、世の光」を、私はそう理解している。

青山学院女子短期大学で学んだあなたは、ジェンダー、マイノリティ、格差、差別といったかなりニオイの強いものを学んできたはずだが、学校の外に出ると社会のあまりの無臭ぶりにあなたは戸惑い、せつせと自分に消臭剤を吹きかけようとするかもしれない。

しかし、ニオイを消すことはできても、あなたの味を消すことはできない。同じ味のする人を見分けることもできるはずだ。そうしてあなたは仲間を作り、社会を変えていく存在になる。あなたがどう考えようが、すでにそう決まっているのだ。あなたが青短を選んだのではなく、神があなたをお選びになり、青短から世に遣わされるのです。青短の卒業を祝うとは、社会の要人になるあなたを祝福することです。

卒業おめでとうございます！

大学 University

主とともに歩む人生

佐々木 仁紀

大学 地球社会共生学部4年

私の青山学院大学での歩みはとても祝福された4年間でした。家族の理解、母教会の祈り、教授の的確なご指導、学部のカリキュラム推薦会(エイレーネー)の交わり、励まし合う仲間たち、刺激を受けたWesley 財団のプログラムなどを通し、また多くの人々の支えをいただいた歩んできました。本当に感謝しています。

大学2年時には、ドーラ・スクーンメーカー宣教師を送り出した合同メソジスト教会の女性集会(United Methodist Women Assembly 2018)に米国オハイオ州で出席し、日本からの感謝を伝えることができました。彼女は、23歳の若さで、飛行機もない時代に25日間かけて船で日本に來られ、女子教育のため5年間を捧げてくださいました。それが青山学院の源流です。この信仰者の姿から、今年23歳になる私は、神様の呼びかけに「はい、主よ!」と応答する大切さを学びました。実はその4年前に同じオハイオ州での高校留学、ホームステイ時にキリスト教信仰を持つに至っていたのでした。ホストファミリーとの再会もあり、神様の導きを感じ深く感じました。



人間全員天の論

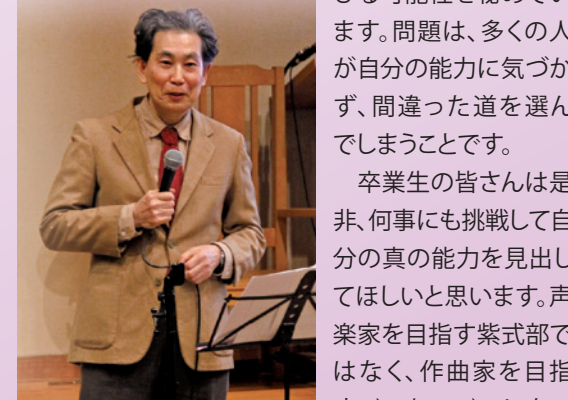
木村 光彦

大学 国際政治経済学部教授

紫式部、ベアトリーチェ、マイケル・ジョーダン……彼らはそれぞれの道で素晴らしい実績を残しました。「どうして?」「言うまでもない、能力をもっていたからだ、生まれながらに」。その通りです。しかしそれだけではないでしょう。彼らはきわめて幸運な人間でした。潜在能力を100パーセント生かすことができたからです。紫式部は小説の才能をもっていました。だからといって、声楽の才能があったとは想像できません。ベアトリーチェが絵を描いたら美術の先生は、これはひどい、と叱いたかもしれません。ジョーダンは、引退して大リーグに挑戦したのですが、全然ダメでした。その後バスケットに戻り、再び大活躍しました。

人間は誰でも天才的な能力を与えられている、と私は思います。神様は惜しむ方ではないからです。何かを作る、人にとても優しく、誰とでもすぐ仲良くなる……他人には容易に真似のできない能力を皆もっている、それは些細にみえるかもしれないが、無限に伸びる可能性を秘めています。問題は、多くの人が自分の能力に気づかず、間違った道を選んでしまうことです。

卒業生の皆さんは是非、何事にも挑戦して自分の真の能力を見出し、間違った道を選んでほしいと思います。声楽家を目指す紫式部ではなく、作曲家を目指すベアトリーチェになってください。それによってあなたは幸せになり、社会はより良くなり、何より、神の栄光が世に輝くと信じます。「神は人を神より僅かに劣るものに造り、栄光と威光を冠に戴かせる」(詩篇8:6)。



女子短大より

卒業礼拝
3/23 月 13:30~14:30
青山学院講堂
説教 吉岡 康子(女子短期大学宗教主任)

始業礼拝
4/3 金 10:00~11:00
短大礼拝堂
説教 吉岡 康子(女子短期大学宗教主任)



チャペル・ウィーク(前期)
5/11 月-15 金 礼拝堂
ガウチャー記念礼拝堂



キリスト教概論 I
オリエンテーション
4/2 木-4 土
《青 山》 ガウチャー記念礼拝堂
《相模原》 ウェスレー・チャペル

新入生歓迎礼拝
4/7 火-13 月
《青 山》 ガウチャー記念礼拝堂
《相模原》 ウェスレー・チャペル

チャペル・ウィーク(前期)
5/11 月-15 金
《青 山》 ガウチャー記念礼拝堂
《相模原》 ウェスレー・チャペル

宗教センター・グループ活動
いずれの集いも自由に参加できます。
聖書に親しむ会
わかりやすく、楽しく聖書が学べます。
キリスト教文化に親しむ会
文学、自然科学、社会問題、音楽などをキリスト教信仰との関わりにおいて語り合い、考えます。

本部より

被災地を覚える祈り会
3/11 水 12:00~
本部礼拝堂

